

収入証紙
はりつけ欄
(消印をし
ないこと。)

※整理番号	
※審査結果	
※受理年月日	年 月 日
※登録番号	

採取計画認可申請書

年 月 日

宮城県知事

殿

住 所

氏名又は名称及び法人にあ
っては、その代表者の氏名

電 話 番 号

登 録 年 月 日

登 録 番 号 宮城県採石登録第 号

採石法第 33 条の規定に基づき、次のとおり採取計画の認可を申請します。

1 岩石採取場の区域

採取場種別	所在地	面積	地目	備考
面積合計				
採掘箇所				
破碎選別工場				
堆積場				
沈殿池				
保全区域				

2 採取する岩石の種類及び数量

種別	岩石の種類	年次別採取量（上段：m ³ 下段：トン）					
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	採取期間合計
	比重（ ）						
	比重（ ）						
	廃土・廃石等 比重（ ）						
	合計						

3 採取期間

年 月 日 から 年 月 日 まで（ 年間）又は認可の日から 年間

4 岩石の採取の方法及び採取のための設備その他の施設に関する事項

(1) 採取場開設に当たって受けた他の行政庁の許認可及びその際の注意事項等について

(2) 採掘方法（該当事項を○で囲む。）

〔露天採掘〕 〔坑内採掘〕・・・・・・別紙のとおり

① 表土除去について

ア 表土の厚さ 表土 _____ m 風化岩 _____ m 計 _____ m

イ 除去の方法

② 採掘の形式（該当事項を○で囲む。）

ア 傾斜面採掘法 _____ 採掘面の傾斜 _____ 度以下
イ 階段採掘法 _____ 採掘面の高さ _____ m 以下
ウ その他（ _____ ） _____ ベンチの幅 _____ m 以上

③ 保全区域

ア 保全区域の幅 _____ m 以上

イ 保全区域に隣接する箇所の法面の勾配 _____ 度以下

(3) 採掘手段（該当事項を○で囲む。）

〔手掘り〕 〔機械掘り〕

① 手掘りによる場合の概要

② 機械掘りによる場合に使用する機械の名称，能力，台数

機 械 の 名 称	規 格 ， 型 式 及 び 能 力	台 数	備 考

(4) 火薬の使用の有無（該当事項を○で囲む。）

発 破 〔有〕 〔無〕 小割発破 〔有〕 〔無〕

① 発破の概要（小割発破を行う場合はその概要も記入すること。）

② 発破回数 _____ 日に _____ 回

③ 発破実施時刻

(午前) _____ 時 _____ 分から _____ 時 _____ 分まで (午後) _____ 時 _____ 分から _____ 時 _____ 分まで

④ 火薬類の種類及び使用量

種 別	規 格	発破 1 回当たりの使用予定量	年間使用予定量	備 考

(5) 破碎選別施設（該当事項を○で囲む。）

破碎選別の方法 [機械選別] [手 選]

① 機械破碎選別による場合

ア 機械選別の場合の概要

イ 使用する機械の名称，能力，台数

機 械 の 名 称	規 格 ， 型 式 及 び 能 力	台 数	備 考

※ 書ききれない場合は別紙とすること。

ウ 砕石プラントの規模 _____ トン/h（1時間当たりの処理能力）

② 水洗の有無（該当事項を○で囲む。）

[有] [無]

③ 水洗の概要（該当事項を○で囲む。）

ア 1日当たりの平均使用水量 _____ m³/日

イ 使用水の処理方法 [循環使用] [直接排出]

ウ 取水源ごとの取水量

取 水 源			
取水量(m ³ /日)			

(6) 採取場内において原石、製品及び廃土又は廃石の運搬に用いる機械の名称、能力、台数

機 械 の 名 称	規 格 ， 型 式 及 び 能 力	平 均 の 台 数	最 大 の 台 数	備 考

5 岩石の採取に伴う災害の防止のための方法及び施設に関する事項

(1) 岩石採取場の外周 300 メートル以内における土地の利用状況及び公共施設、建物等の状況
(民家及び公共施設等で主要なものについては、採取場からの距離を記入すること。)

(2) 土地の崩壊、亀裂又は陥没等

ア 予想される土地の崩壊等の態様及び範囲

イ 災害防止措置

(3) 騒音・振動

① プラント関係

ア 予想される騒音・振動発生の際の態様及び範囲

イ 騒音・振動防止措置

② 岩石採取場関係

ア 予想される騒音・振動発生の際の態様及び範囲

イ 騒音・振動防止措置

③ 騒音規制法に基づく規制基準 地区 基準地 デシベル
振動規制法に基づく規制基準 地区 基準地 デシベル

- ④ 騒音規制法による届出の有無（該当事項を○で囲む。）
〔有〕 〔無〕 特定施設の名称（ ）
振動規制法による届出の有無（該当事項を○で囲む。）
〔有〕 〔無〕 特定施設の名称（ ）

(4) 粉 じ ん

① プラント関係

ア 粉じん発生の態様及び範囲

イ 粉じん発生防止措置

② 岩石採取場関係

ア 粉じん発生の態様及び範囲

イ 粉じん発生防止措置

③ 大気汚染防止法による届出の有無（該当事項を○で囲む。）

〔有〕 〔無〕 特定施設の名称（ ）

(5) 飛 石

ア 予想される飛石発生の態様及び範囲

イ 飛石発生防止措置

(6) 廃土又は廃石の流出

ア 予想される廃土又は廃石の流出の態様及び範囲

イ 廃土又は廃石の流出防止措置

(7) 汚濁水等の流出

① プラント汚濁水

- (ア) 汚水発生量及び水質 _____ $m^3/日$ 浮遊物質量 _____ $mg/②$
(イ) 排出水の水量及び水質 _____ $m^3/日$ 浮遊物質量 _____ $mg/②$
(ウ) 流出防止措置及び殿物の処理方法

② 降雨による場内通過汚濁水

- (ア) 汚水発生量及び水質 _____ m^3/S 浮遊物質量 _____ $mg/②$
(イ) 排出水の水量及び水質 _____ m^3/S 浮遊物質量 _____ $mg/②$
(ウ) 流出防止措置

③ 場内ゆう水、沢水及び山腹水

- (ア) 発生水量 I 場内ゆう水 _____ m^3/S II 沢水 _____ m^3/S III 山腹水 _____ m^3/S
(イ) 排出水の水量及び水質 _____ m^3/S 浮遊物質量 _____ $mg/②$
(ウ) 流出防止措置（場内貫流による汚濁防止のため設置した施設等）

④ 水質汚濁防止法による届出の有無（該当事項を○で囲む。）

〔有〕 〔無〕 特定施設の名称（ _____ ）

(8) 採取場外への原石、製品及び廃土又は廃石の運搬に用いる機械の名称、能力、台数

① 搬出方法

運搬の主体	運搬車の名称、規格、型式及び能力	平均台数	最大台数	備考

② 搬出に伴う災害の防止措置

(9) 採掘終了時の措置

① 保全区域の崩壊防止

② 残壁の措置及び跡地の処理

③ 人に対する危害防止

6 岩石の賦存の状況（推定賦存量計算書を添付すること。）

(1) 掘採区域及びその周辺の地形，地質，採取しようとする岩石の走行，傾斜，厚さ等について

(2) 推定賦存量 _____ m³

7 廃土又は廃石の堆積方法及び脱水ケーキの処理方法

8 従業員の状況

(1) 従業員数 _____ 人

(内 訳) ① 採取関係 _____ 人 ② 破碎選別関係 _____ 人
③ 輸送関係 _____ 人 ④ 事務関係 _____ 人

(2) 資格等の充足状況（資格保有者については資格書を添付すること）

① 採石業務管理者	_____ 人	② 火薬類取扱保安責任者	_____ 人
③ 公害防止統括責任者	_____ 人	④ 公害防止管理者	_____ 人
⑤ 掘削作業主任者(採石)	_____ 人	⑥ 安全衛生管理者	_____ 人
⑦ 第2種電気取扱検定合格者	_____ 人	⑧ 安全運行管理者等	_____ 人
⑨ 車両系建設機械運転技能者	_____ 人	⑩ その他	_____ 人

9 採取する岩石の用途

採取しようとする岩石の名称	年間生産量	年間生産量の製品別内訳											工業用原料	
		砕骨材						石材						
		道路用	コンクリート用	鉄道道床用	砂	その他	小計	切石	間知石・割石	割く石	その他	小計		
計	()													
主な出荷先														
用途														

※ トン換算数量は () 書きすること。